



コープながのが取り組む「組合員とともにできること」



コープながのは、コープデリグループとともに事業と活動を通してコープながのの

「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。取り組みをご紹介します。

未使用文房具寄付キャンペーン

コープながのでは、身近な貧困問題への理解を深め、地域のささえ合いへの共感者を増やす活動の一環として「未使用文房具寄付キャンペーン」に取り組んで3年目になります。コープながのの店舗に寄付BOXを設置し、お寄せいただいた未使用文房具は、NPO法人フードバンク信州を通じて、県内で必要とする家庭にお届けしています。企業名などの記載のないものに限りませんが、鉛筆1本でも大丈夫です。未使用文房具は直接総合企画室へお送りいただくか、コープ安曇野豊科店、コープ長野稲里店のサービスカウンターに設置されている寄付BOXに入れてください。また、県内4カ所にあるフードバンク信州の拠点に持ち込んでいただくことも可能となっています。

※2021年度の実施期間は11月21日～1月20日。



NAGANO SDGs PROJECT

長野県は2018年から「しあわせ信州創造プラン2.0」においてSDGsを総合的にすすめることとし、「SDGs未来都市」に認定され、取り組みを強化しています。これに伴い、SDGsの認知向上・理解促進と実践を目指し、学校・民間・行政・企業が互いに協働しあい、持続可能な社会を実現させる取り組みを推進するため

「NAGANO SDGs PROJECT」を発足しました。コープながのはSDGsを県民が理解し、目標に向けて取り組みを進めるための協賛団体として活動をしています。また、学校での出前講座の要請等があれば、コープながのとして理事会から講師を派遣するなど運営面でも協力します。

事例1

安曇野市の国営アルプスあづみの公園にて、同公園管理センター主催の環境学習会「SDGsってなあに？」が開催されました。学習会には講師の1人として理事が登場。「コープながののエシカル消費の取り組み」と題し、コープ商品とエシカルについて報告しました。普段の買い物で商品を選ぶ基準の1つとして、海のエコラベルMSC認証マークや森のエシカルFSC認証マーク、持続可能なパーム油などの紹介に、参加者は興味を惹かれた様子でした。参加者からは「マークがもっと大きく表示されていたらいいと思う」「一般的にこういったマークがついている商品は売っているのでしょうか」といった意見が出されていました。



事例2

長野市、諏訪市、安曇野市、御代田町の4会場で「段ボール堆肥作りからSDGsを考えよう」を実施し、あわせて41人が参加しました。家庭から出る可燃ゴミの4割が生ゴミといわれていますが、この企画は台所から出る生ゴミを少しでも減らし有効活用しようという取り組みです。私たちが一番身近に取り組めるのは「食品ロス」を減らすこと。「食べ残しをしない」「必要な分量だけ買う」などの、日頃から心掛けたいポイントを紹介した後、段ボール箱を使って堆肥をつくる容器を作成しました。この企画では組合員理事が講師となりコープながののSDGsにかかわるさまざまな取り組みやエシカル消費について説明しました。



事例3

長野市の小学校よりSDGsに関する授業依頼があり、6年生の児童65人に向けて、約90分にわたり組合員理事が授業を行いました。前半の授業では、コープながののSDGsにかかわる取り組みを、商品や動画を活用して紹介するとともに、エシカル消費についての説明を行い、後半ではプラスチックごみの向き合い方やフェアトレード、途上国の現状、コープデリで取り組む「ハッピーミルクプロジェクト」の紹介をしました。授業の中では、ワークも取り入れ「認証マーク当てゲーム」を行いました。児童たちは、くじで引いた認証マークと同じマークが印刷された商品パッケージを探しました。最後に、「明日から自分が出来ること」を一人ひとり考えてもらい、「エコバッグを使う」「食べ残しをしない」「人種差別をしない」「認証マークの商品を買う」などの意見が出されました。



長野県SDGs推進企業登録

長野県は2018年、SDGs達成に向けて優れた取り組みを提案する「SDGs未来都市」に認定されました。2019年度は「長野県SDGs推進企業登録制度」が創設され、コープながのは、SDGsを推進する団体として登録しています。コープながのは、SDGs達成に向けた重点的な取り組み(2030年に向けた指標)を①温室効果ガス排出量40%削減②女性管理職比率10%以上を掲げて内外に公表しています。



NPO法人フードバンク信州への協力

フードバンクは、フードドライブ®で集まった食品を一時保管し、困っている人へ届くようにしている組織です。コープながのは、フードバンク信州設立当初から会員となり、フードバンクの取り組みに協力しています。現在は、コープ長野稲里店におけるフードドライブ場所の提供のほか、大雪や物流トラブルでお届けできなかった食品類の提供、組合員活動で残った食品類の提供などを行っています。

※フードドライブとは、家庭で余っている缶詰・レトルト食品やお米を寄付してもらい、「食品を集めるキャンペーン」をいいます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標17:

パートナーシップで目標を達成しよう

につながっています。

